

# 学校だより

平成20年10月20日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 嶽野 壽正

TEL 082 - 245 - 0304

E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

FAX 082 - 245 - 0349

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



## 運動会・体育祭、大成功！！

冷気が日増しに加わり、秋が深まってまいりました。お元気でお過ごしのことと思います。

さて、天気にも恵まれて、運動会・体育祭が無事終わりました。お忙しい中、多くの方々からご声援をいただきまして、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、子どもたちは日頃の学習の成果を十分に発揮することができ、心から喜んでいるところです。

ご来賓の方々からも、「子どもたちはみんな輝いていますね。」「よく工夫がされていますね。」等の感想を頂いておりますのでご紹介しておきます。

精一杯力を出し切り、堂々とした演技を見せてくれた子どもたちに大きな金メダルをあげたいと思います。



## 歯科指導、ありがとうございました

10月16日(木)に、学校歯科医の上田裕次先生をはじめとして歯科医の先生や歯科衛生士の方など合わせて14名の方々が来てくださり、小学部1・3・5年生の歯科指導をしてくださいました。



主には、一人一人の実態に応じて、ブラッシングの方法を個別に指導していただきました。磨き残しの多い部分がどこかも、一人一人に教えて下さり、今後学校や家庭での歯磨き指導に活かせる内容ばかりでした。教えていただいたことを参考にして、今後も歯磨きを継続して取り組んでいきたいですね。



## 理学療法士 佐々木昭先生にインタビュー

今年度からお世話になっている理学療法士の佐々木昭先生に、インタビューをしてみました。

Q:「本校に来ていただき半年が過ぎますが、ご感想は？」

A:「これまでは、限られた場所で限られた活動を短い時間の中で見させていただいておりましたが、今は普段学校で暮らしている子どもたちの様子をじっくり見させてもらうことができます。学校生活の中での現実的な姿を拝見させていただきながら、より実用的な視点でも指導ができればと思って頑張っています。」

Q:「教員や保護者の方に何か伝えたいことがありますか？」

A:「小学部から高等部までのこの12年間は、人がすごく変化する時期でありとても貴重な大切な12年間でもあります。困り感もそれぞれ違うと思いますが、先生方や保護者の方と力を合わせて少しでも解決につなげていければと思っています。まだまだ知らないことがたくさんあります。今後ともよろしくをお願いします。」

佐々木先生、今後ともご指導のほどよろしくをお願いします。



## 建替えニュース

本校移転改築基本計画に係り、保護者の方々から53名、133件の貴重なご意見をいただきました。

お忙しい中、アンケートにご協力くださりまして、本当にありがとうございました。今後の基本設計や実施設計に向けて、できる限り繁栄できるように教育委員会にも声を届けて参りたいと思いますので、これからもご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 各学部から

### 小学部から

今月の9日・10日に6年生は岡山方面へ1泊2日の修学旅行に出かけてきました。1学期から20数時間の学習を積み重ね、学習の成果を遺憾なく発揮しながら、行く先々で地元の人たちと深い心の交流を深め、すてきな思い出というお土産も持って帰ることができました。小学部最高学年である6年生は引き続き行事が続きますが、一つ行事を終える度に多様な個性をダイヤのように輝かせながら成長していく姿をとともうれしく思います。

さて、10月から11月にかけては、秋も深まり、一段と学習に集中できる時期です。29日には授業公開もありますが、小学部では国語科を中心に研究を深めています。先生方も子どもたちの笑顔があふれ、未来への可能性がいつそう広がるよう毎日、熱心に子どもたちと向き合っています。この実りの秋にいつそうご期待ください！また、参観日には忌憚のないご感想、ご意見をお待ちしています。学校教育のエネルギー源はご家庭のご理解・ご協力です。よろしく願いいたします。

### 中学部から

本年度の中学部の努力事項は美術科の生徒の実態や発達課題に応じた授業作りです。中学部では1学期に描画の発達段階と学習指導要領の段階とねらい等について研修を行い、夏季休業中には広島大学の若元教授をお招きして研修を行いました。若元先生には美術教育は人づくりであり、3H（ハート：感じる力、ヘッド：考える力、ハンド：みる・かく・つくる力）が必要で、それらを引き出すにはときめきが大切だということをお教えいただきました。

各学年とも生徒の実態に合わせてワクワク・ドキドキ感をもたせる工夫を行い、感じる力、考える力、そして表現の技能の向上も目指して各学年で研修・実践を積み重ねてきました。その結果、取組の途中ではありますが、画用紙の余白を見ながら隙間なくなぐりがきで一心不乱に描くようになった生徒。対象物をじっくり観察して細部の形や色をより正確に表現できるようになった生徒。お話をしながら葉っぱに顔や手足、先生の着ている服の模様を描いたりして（アニミズムといって太陽に顔を描いたり、ものにも魂があるように擬人化して描く表現だそうです）表現できるようになった生徒等の報告がありました。これらの力は美術の時間だけでなく、学校生活全般での指導の中から総合的に得た力ですが、美術の授業作りの結果、生徒それぞれの思いを画用紙の中に表現できるようになりました。

子どもの絵は見るだけでなく、耳で聞けという格言があるそうです。作品を分析して評価するだけでなく、お話をしながら描いたり、描く活動そのものを楽しみながら表現している生徒たちの姿を大切に指導法の研修を深め、生徒たちの成長に寄与していけたらと考えています。



### 高等部から

秋晴れの中、高等部体育祭が行われました。いかがでしたでしょうか。2学期の始めから当日まで、毎日のようにいずれかの学年の先生や生徒の元気な声がグラウンドに響いていました。お昼時間まだまだ暑いグラウンドで練習を行ってきた応援団、体育の時間や朝の時間に少しずつ段階を踏んで学年種目やスウェーデンリレーに取り組んできたそれぞれの学年の生徒達、よくやりましたね。1学年は自分色のメダルを目指して頑張りました。2学年は、野外活動でつけた団結力を生かしてクラスで一丸となってシュートしましたね。3学年は、友情の和をしっかりと表現しました。いずれもこれまでの積み重ねてきた成果を発揮し、力いっぱい姿を披露することができたのではないのでしょうか。ひとつのことをやり遂げた達成感、自分に自信がもて、次の課題にも積極的に取り組むことができることでしょうか。さあ、これからの学習にも元気を出して取り組んでいってくれることを期待しています。



## お知らせ

「ひろしま教育の日」に関連した取組として、開かれた学校づくりを推進していくという主旨で、11月1日から7日まで「学校へ行こう週間」を実施しています。授業見学や研修会、説明会等も予定されています。是非ご来校くださいますよう、ご案内いたします。

11月14日（金）と15日（土）は、文化祭です。展示や店だし、舞台発表等、今年も充実した内容ですのでご期待ください。大勢の方のご来校をお待ちしています。